

# 「まち」の企業訪問 元気じるし登場

234

齊藤建築（栃尾商工会）



晃一さん(左) と信一さん

## 雪おろし ガード

署、消防署、大学までも直接話に行くとのこと。特許や各種補助金などにも積極的にチャレンジしています。

4、5年前から構想は出ていたとい

今回は長岡市栃尾地域です。皆さんに知っていただきたい元気な大工さんを紹介します。長岡市金沢にある齊藤建築さんを訪ね、代表の齊藤信一さん、共に事業をされている晃一さんにお話しを伺いました。親子2代で栃尾地域を中心に事業を行っています。

## 自分で動く

作業場を訪ねると気さくな笑顔で迎えてくれた齊藤さん。「どこでも自分で聞きに行くんだよ。そうじゃないと進めないからね。」と仕事のスタイルをお話ししてくれました。知りたいこと、疑問に思ったことなどは物怖じせず、商工会はもちろん市役所、労基



雪おろしガード（展示場内）

う「雪おろしガード」。雪の多い栃尾地域では除雪、屋根の雪おろしが大切な仕事のひとつとなっています。近年は住民、建築業者ともに高齢化が進み、雪おろしが出来る人材が少なくなってきたことが課題です。屋根の上での作業は危



スノーダンプの上げ下ろしも怖くない

険を伴います。その恐怖感から作業に躊躇する業者もいます。齊藤さんは毎年必ず放送される雪おろし事故のニュースに胸を痛めていました。「雪は待つてくれないからね。少しでも安全に過ごせるようにしたかったんだ。」雪おろしガードはそんな齊藤さんの思いやりから昨年誕生しました。通常、安全帯などでの対応が常識ですが、雪で足元が滑ったり、スノーダンプが落ちそうになったりとヒヤヒヤすることもあります。

雪おろしガードは鉄パイプを組み合わせて屋根の上に柵を作り、除雪作業を安全に行えるようにするもので、その接続部分が齊藤さんのアイデアです。屋根にセットし、パイプを差し込んでいくという比較的簡単な方法で、工具1つで組み立てが可能です。



展示場

雪の重さで段々と強度を増していく構造になっています。さらにこの雪おろしガードを設置することで、軒先の雪庇を切り落としてくれます。（雪質による）商品として出せるまでには、齊藤さんの地道な苦労がありました。ホームセンターなどで材料を調達し、作業所で実験を繰り返しました。人間2、3人が寄りかかってもビクともしない強度を出すまで試行錯誤し、やっと納得のいく出来に仕上がりました。既にこの「雪おろしガード」は話題になり県内の新聞や地元紙に取り上げられ、他地域からの問い合わせが来ています。今の時期でも実際に現物を見てもらいたい、と展示場を設けました。夏ごろからの受注、設置に向け、PR活動に力を入れ始めています。

## 後継者へ

信一さんの横で穏やかに話を聞いていた晃一さん。専門学校卒業後、すぐに信一さんのもとで大工仕事を始めました。信一さんが進学について聞いた際「この仕事を始めたい」とすぐに答えたそうです。「30代の若い大工が今ほとんどいない。仕事も栃尾だけでなく広がっていかないと。」と後継者として課題に向き合っています。雪おろしガードについて伺っている際も「少しでも事故が減ってくれたら・・・という思いです。」とお客様に対する思いやりをしっかりと受け継いでいらつしました。

お話し全体を通じて、数々のアイデアと、つい話をしたくなる信一さんの人柄、その心遣いに、仕事が集まってくるのだなと感じました。齊藤さん親子の益々のご活躍に期待が高まります。

## 【お問い合わせ】

齊藤建築

（代表：齊藤信一さん）

〒940-0135

長岡市金沢2-8-11（展示場）

TEL 080-7886-3426

FAX 025-85335841

雪おろしガードで検索